

経営比較分析表（令和2年度決算）

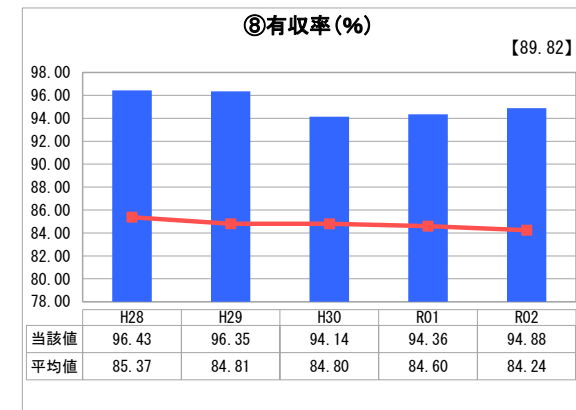
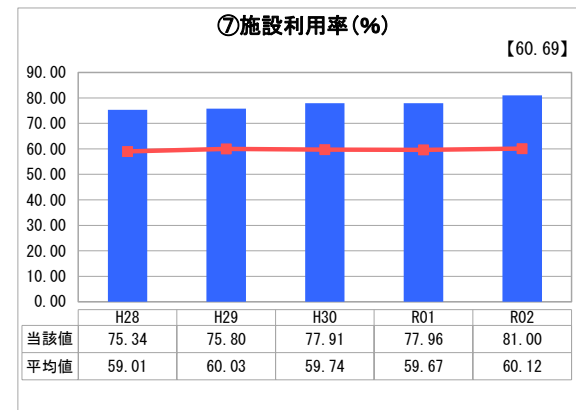
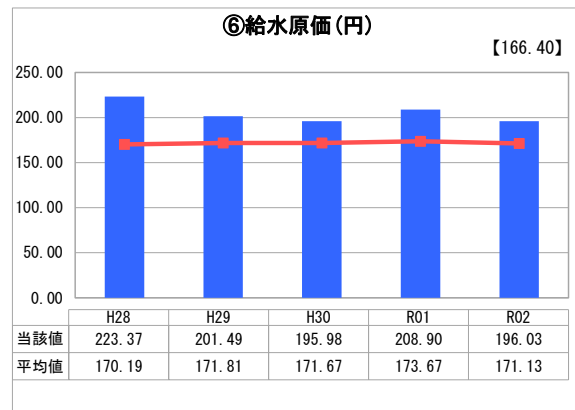
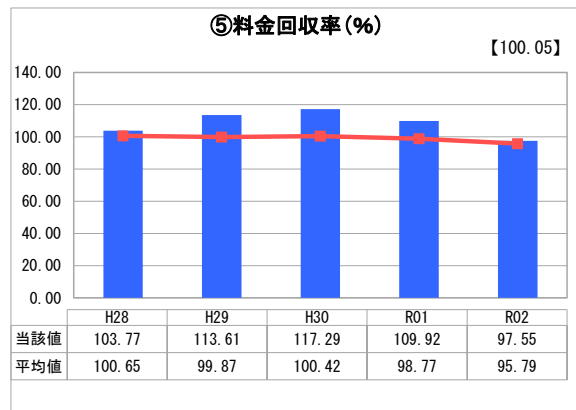
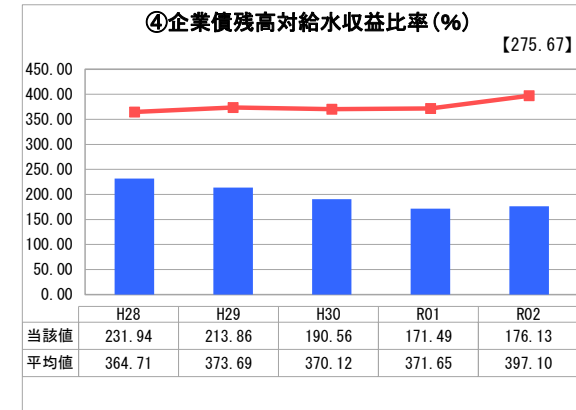
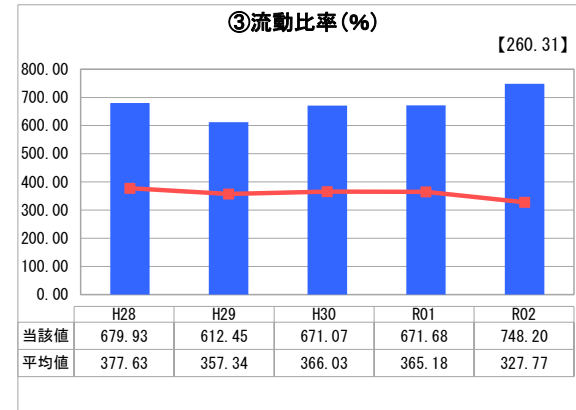
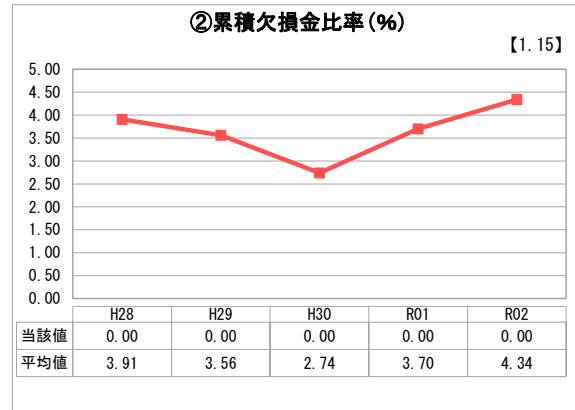
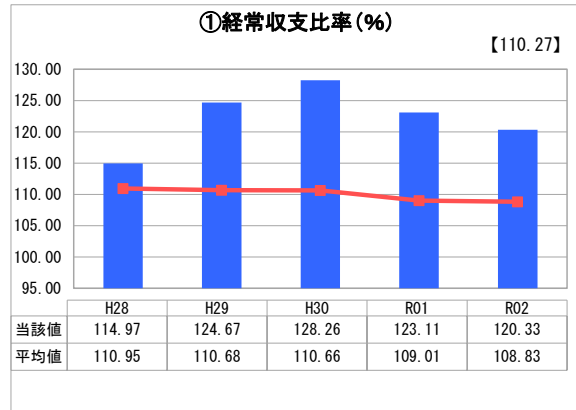
福岡県 志免町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	83.82	99.68	1,518	

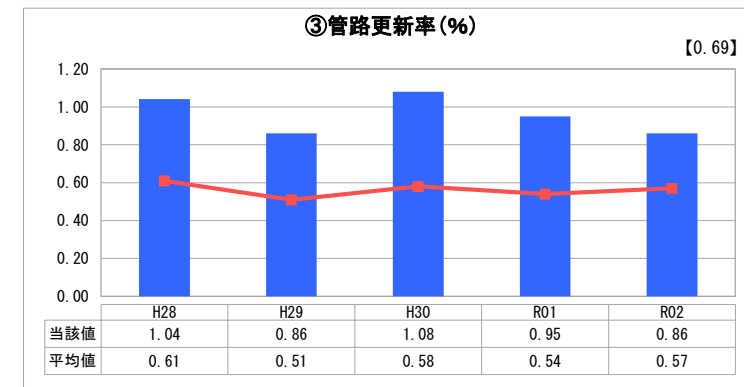
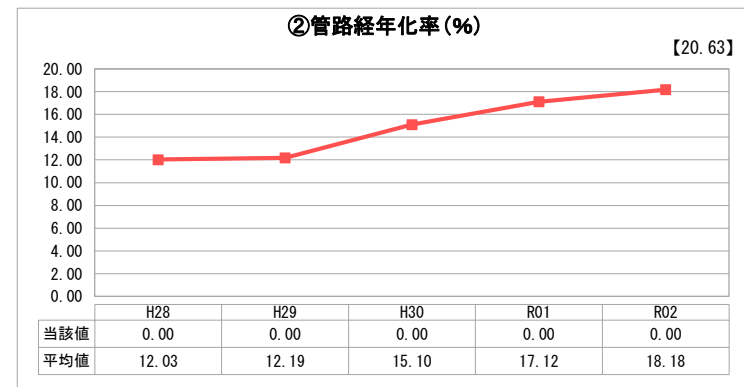
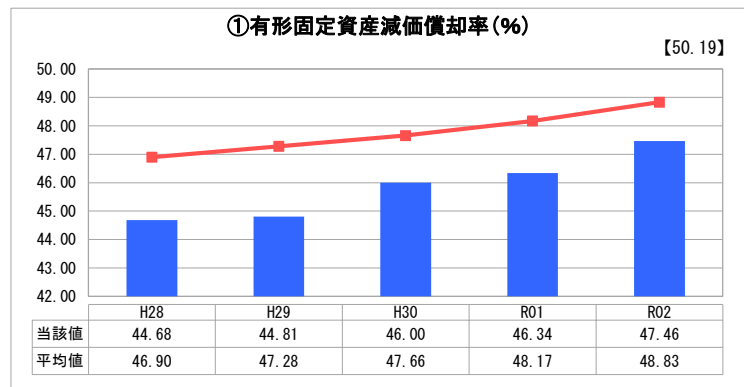
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
46,612	8.69	5,363.87
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
46,359	8.69	5,334.75

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

志免町の水道事業経営においては、毎年純利益が発生しているため、健全な経営状況と言えます。

- ① 経常収支比率は、当期の経営活動による収入で費用を賄えているかの指標で、黒字であることを示す100%を超えており、健全な状態といえます。
- ② 累積欠損金は、ありません。
- ③ 流動比率は、短期的な支払い能力を表す指標で、年々上昇しており、類似団体より良い状態です。
- ④ 企業債残高対事業規模比率は、給水収益に対する企業債残高の割合で、自主財源で計画的に更新工事を進めているため、企業債残高は年々減少しているため、類似団体平均値に比べ低くなっています。
- ⑤ 料金回収率は、経費を給水収益でどの程度賄えているかを表す指標で、新型コロナウイルス感染症にかかる経済支援として、水道料金2か月分を減免したことにより100%を下回りましたが、減免をしなければ100%を超える見込みでした。
- ⑥ 給水原価は、有収水量1m³当たりの給水に要した費用で、福岡地区水道企業団からの受水費や維持管理等の費用が大きく、類似団体平均値を上回っており、引き続き経営改善に取り組めます。
- ⑦ 施設利用率は、施設の処理能力に対する処理水量の割合、⑧ 有収率は、総給水量に対する有収水量の割合で、どちらも前年度から微増しており、類似団体平均値を超えています。施設の稼働状況が適切に収益に反映されていることから、経営の効率性は高いものと考えられます。

2. 老朽化の状況について

志免町の水道路は毎年計画的に更新を行っているため、著しい管路の老朽化や早急に検討すべき課題はみられません。また、水道施設についても、これから耐震化や更新工事などを計画的に実施し、投資の効率化や維持管理費の削減に取り組めます。

- ① 有形固定資産減価償却率は、減価償却がどの程度進んでいるかを表す指標で、類似団体平均値と概ね同様の増加傾向となっています。
- ② 管路経年化率は、法定耐用年数（40年）を超えた管路延長の割合で、耐用年数を超えたものはありません。
- ③ 管路更新率は、当該年度に更新した管路延長の割合で、類似団体平均値を上回っており、早いペースで管路更新が行われていると考えられます。

全体総括

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症にかかる経済支援として、水道料金2か月分の減免を実施したため、「⑤料金回収率」が100%を下回りましたが、「①経常収支比率」は良好で、「②累積欠損金」もないことから、現在のところ経営の健全化は保たれていると考えられます。ただ、今後は給水収益の大幅な増額は見込めず、管路や水道施設の更新費用が大きくなっていくことが予測されます。そのため、今後も経営の健全性を維持するために引き続き効率化に取り組むとともに、施設の統廃合や長寿命化など最適な投資計画による経費削減にも取り組んでいきます。